

2006 年度(平成 18 年度)  
特定非営利活動法人宝塚 NPO センター 事業報告書

【目次】

はじめに;平成 18 年度重点事業について	… 1
宝塚 NPO センター自主事業	… 4
宝塚市「市民活動促進支援事業」	… 6
兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいしごと支援事業」	… 9
インキュベーション事業	… 11
子育て支援事業	… 13
2006 年度決算書類;収支計算書、貸借対照表、財産目録	… 14
2007 年度予算	… 17



特定非営利活動法人 宝塚 NPO センター

兵庫県宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F

TEL 0797-85-7766

FAX 0797-85-7799

E-mail zukanpo@hnpo.net

URL <http://www.hnpo.comsapo.net/zukanpo/>

今年度は大変革を迫られた年でした。まず、震災復興基金で行っていた生きがいごとサポートセンター事業が 680 万円削減され、1,700 万円事業になったこと。そして、私が右腕としていた山本次長の退職。この二つの大事件により、規模の縮小という大変革を迫られました。また、保育ルームの経営も重たいものがあり、継続するかの決断の時期でした。まず、ソリオ 3 の 4 階にあった生きがいごとサポートセンター阪神の事務所を閉じ、元の宝塚 NPO センターへ戻ることになりました。それで事務所経費を 400 万円節約することができました。また、他にも夫の転勤や、家族の問題で退職したスタッフが 2 名いたので計 3 名が辞めたことになるのですが、欠員補充を行わないと決めました。

それで、宝塚 NPO センターへ戻ったスタッフと元からいたスタッフ 6 名体制で立て直しを図りました。少数精鋭とはいえ、今まで大勢のスタッフでやっていたものですから、慣れるまでは大変でした。それでも、拠点 を 1 か所にしたおかげで、3 か所あった時より、みんなの顔が見え、一人ひとりの仕事も把握でき、コミュニケーションも取れ、特に消耗品費などは激減しました。保育ルームの経営は、以前からの協働相手である NPO 法人保育ネットワークミルクに全面的に任せることにして、思い切って手を引きました。

この間、随分悩みました。組織を大きくし継続するという選択肢を捨てたわけですから、これでいいのかと悩んだことも事実です。でも反面、気持ちはとても楽になりました。自分のキャパも知りました。特に保育事業に至っては、専門家に任せることが大切であるとの教訓を得ました。この件で中間支援組織としての方向性をしっかり持たなくてはいけないとの決意をさらに固めました。組織の基盤を強化し、小さく小回りのきく大きさにし、NPO の支援を行うことを専門とし、それらたくさんの NPO をネットワーク化し、NPO セクターを世の中に根付かせるという初期の方針に戻りました。

さて、1 年が経過し結果を見てみますと、まず今年は成果が上がっています。スタッフ 6 名一人ひとりが社会起業家をめざしました。各々が事業に責任を持ち企画実施していくことで、スタッフのやる気と能力の向上を図りました。経営面から行くと今年は大きく黒字です。少数精鋭でなおかつ、理事やボランティアの支援、インターンシップの活用を大きく伸ばすことができました。単なるお手伝いのボランティアやお客様のインターンシップではなく、彼らが責任ある仕事を分担したことで、大きく成長し成果をあげていただけました。おかげでみんなに支えられたこの 1 年でした。

2007 年度（19 年度）に向けてもこの方針を継続するつもりですが、よりボランティアの活用やインターンシップの人材育成を視野に入れたセンターとして事業に組んでいく予定です。来年度は 10 周年に当たるため、この 10 年の振り返りとこれからの 10 年も視野に入れた事業計画が必要とも思われます。いろいろな人がやってきて飛び立っていくセンターではありますが、学校と違う人材育成も行い、世の中に役に立つ人が多く育っていくことを心から願い、かつ実践することを来年度の抱負にします。

### 森 綾子

私の仕事は全体の把握と経営、人事です。具体的には、講演の依頼があれば、全国どこにでも出かけます。今年も 50 件の講演をこなしました。講演で聴かれた人から起業の相談が入ります。また、中間支援組織の立ち上げや運営支援もしました。ネットワークをつくるために阪神 NPO 連絡協議会や（特）おおさか元気ネットワークの毎月例会に出席したり、一泊研修やフォーラムを実施しました。新しい人との出会いが仕事です。

来年度は新事業の団塊世代の人をいかに巻き込み NPO に参加してもらおうか模索していきます。



### 吹曾 幸雄

私は、NPO 法人の設立認証申請書類の作成から、設立総会の議事運営、認証後は、設立登記申請書類の作成、法人設立後の設立登記完了届から、役員変更、定款変更等の諸届けまで、親切、かつ、丁寧をモットーに日々



取り組んできました。今年は、桂小春団治師匠が海外での落語公演事業等を目的として、「NPO 法人国際落語振興会」を設立され、新作の「NPO 落語」を（特）市民活動フォーラム箕面で上演されました。第1級芸術家の話芸が、NPO というものをこんなにも判り易く理解させることが出来ることに驚きを感じました。師匠とともに所轄庁で設立認証申請書類の審査を受けた際の担当官の親しみのある対応も忘れられません。

### 金森 康

2006 年度は大きな分岐点だった・・・、と数年後に振り返ることがあるのでは？

生きがいごと SC 阪神北(CDC)事業がメインであることに変わりはないですが、NTT データクリエイションさんの協力を得ているブログポータル「阪神・宝塚・川西情報ねっと」、全労済兵庫県本部・近畿ろうきんさんの応援で運営している阪神北 NPO ハウスなど CSR 関連の事業も軌道に乗りつつあります。阪神地域のバスマップ事業も可能性を感じます。助成金申請書の作成支援、NPO 同士のコラボプロジェクトづくり、ブログで情報発信支援、会計・情報発信のコンサルタント派遣などの相談対応から、宝塚 NPOC の新規プロジェクト立ち上げや組織運営など、楽しい日々が続きます。



個人ブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/nijinsky/>

### 小野 靖子 (担当 = 総務、会計、会員管理、NPO センター講座)

2006 年度は CDC と NPO がひとつの事務所になったことで、情報を共有し、お互いの仕事をさらに理解でき、また備品の無駄もなくなり会計を預かる身としてはいい事尽くめでした。講座は初めて担当するものもありましたが、日常のルーチンワークが役立ちました。また今年は「子どものまち ミニたからづか」の担当が出来たことが大きな収穫でした。ミニづかスタッフと共に作り上げた半年間は充実した時間であり、楽しみながら仕事ができ、事故もなく無事終了することが何よりでした。



### 田淵 由佳利 (担当 ; 就業相談、講座企画、NL、阪神 NPO 連絡協議会事務局)

2006 年度は 4 年目の私にとっては「ブラッシュアップ」の 1 年でした。講座企画は充実したものにできましたし、阪神 NPO 連絡協議会は会員も増え、いざという時に役立つネットワークの輪が少しづつ広がっています。新しいチャレンジとしては、キャリアコンサルタントの試験を無事クリアできました。2007 年度は「現場」をテーマに頑張ります！！



### 寺本 弘伸

宝塚 NPO センターでは子ども支援事業をはじめ事務業務など色々と携わらせていただき感謝しています。その経験を生かしてこれからの事業に役立てていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

2007 年 4 月より NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク (NVNAD)へ



**加藤 友佳子** (日産 NPO ラーニング奨学金制度 第 8 期)



NPO の一日、NPO の一年とこの世界の時間の流れが身体に染み込み始めました。みなさんの働くスタイルを見ながら、いつの間にか自分の時計もカチリと合わせたような。海外視察では、新たな発想を得ることができました。日本に溶け込ませる方法をこれから模索していきます。「つながり」に恵まれる日々ではたくさんの社会の種を頂いている気分です。これまでの種を蓄える時期からいよいよ私も育てる段階へ。おいしい実りのためにもワクワク心で取り組んでいきます

**大野 真鯉** (日産 NPO ラーニング奨学金制度 第 9 期)

こんにちは 大野真鯉です。真鯉と書いて「まり」と読みます。本業は大学院で社会福祉を専攻する院生です。でも、「研究だけでは充実した生活を送れない!」と思い、今ではインターンにどっぷりはまっています

私は、今までまち協向けブログ講座の講師や、子どもがつくるまち「ミニたからづか」の副実行委員長を務めてきました。特に「ミニたからづか」は、私の人生変えちゃいましたね~詳しくはここでは書ききれません!

これからも空を泳ぐ鯉のぼりのように、のんびりゆらゆらと、でも芯を持ってやっていきたいです

NPO センターの皆さんとは、今ではすっかり仲良しに!こんな私を支えてやってくださいね!



**白水 崇真子**

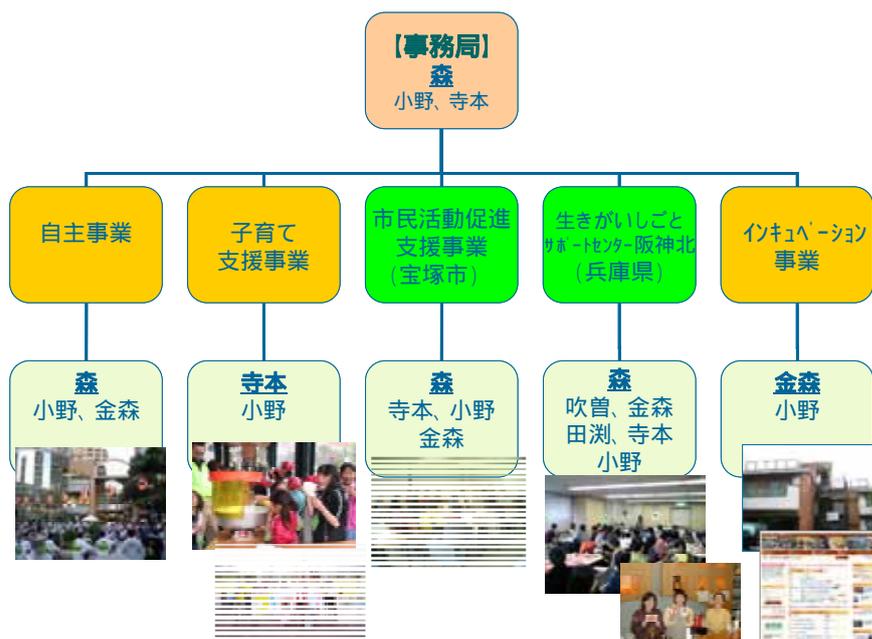
2007 年度から CDC に新たにできた事業 (シニア・団塊世代対象事業) の担当をさせていただきます。白水 (しろうず) と申します。どうぞよろしくお願いいたします。セミナーやブログ等の情報発信、ボランティアやお仕事のご相談など、これから参加したい、挑戦したいなどなど、あなたの夢をお聞かせください。お手伝いできれば幸いです。お待ちしております。

<http://www.hnpo.comsapo.net/seniorclub/> (ブログ:シニア倶楽部 お楽しみに!)

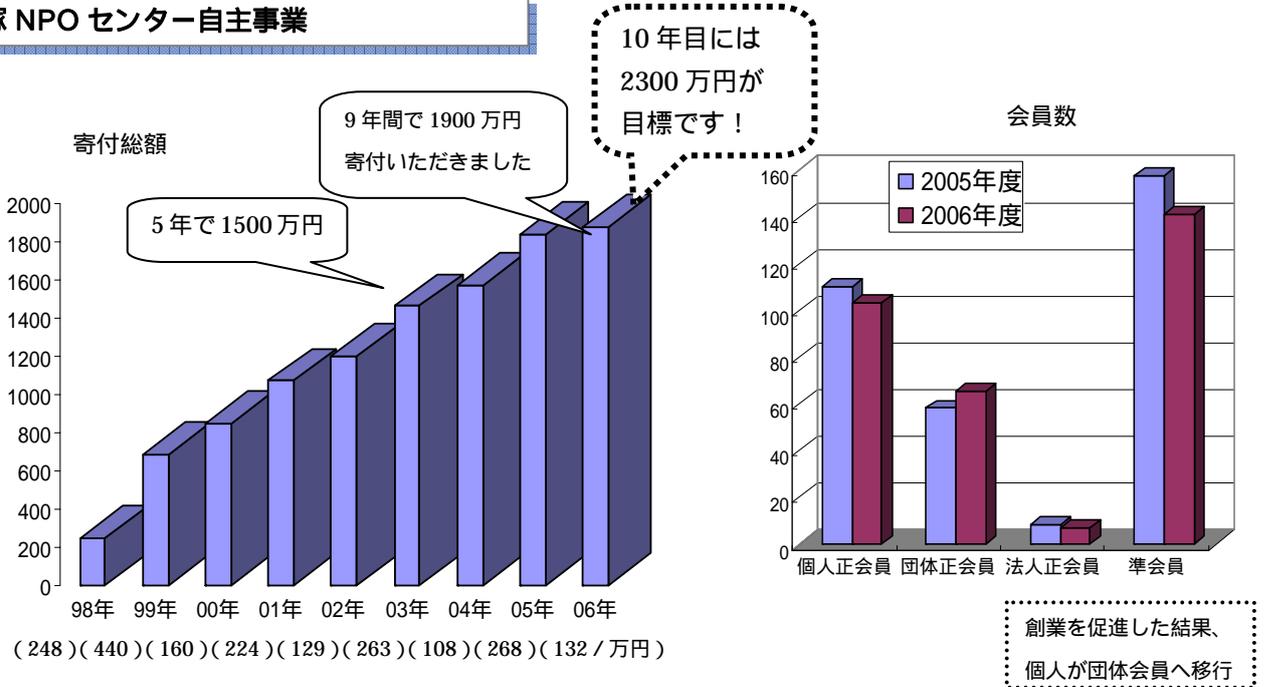


2006 年度は、自主事業、子育て支援事業、インキュベーション事業、市民活動促進支援事業(宝塚市委託)、生きがいしごとサポートセンター阪神北事業(兵庫県補助)の 5 事業を行ないました。それぞれが中間支援 NPO に求められるサービスであり、NPO やコミュニティ・ビジネスの基盤づくりのためには社会に必要なサービスです。

兵庫県の宝塚という地に、中間支援 NPO としてもうすぐ 10 年。皆さまから多くの支援・応援をいただいて、2006 年度も満足のいく成果をあげることができました。



## 宝塚 NPO センター自主事業

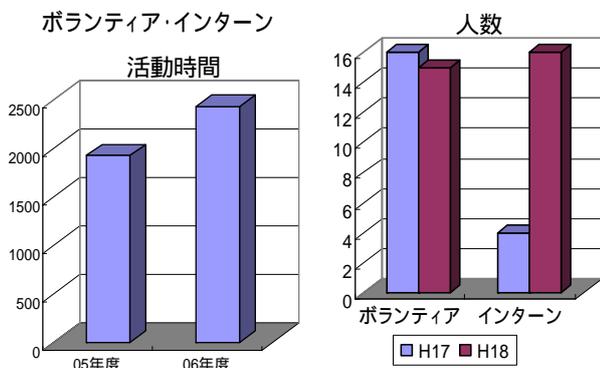


### (1) 寄付

寄付の額が多いのがセンターの特徴です。設立から5年間で1,500万円の寄付でしたが、今回は倍額にはならないものの9年間で1,900万円と多くの人の支援を受けているという成果が示されています。

### (2) 会費

会員に支援されて設立したセンターですので最初は個人正会員146名が寄付と会費を下さって、多くの支援を受けてうまれましたが、9年目は103名と減少しているものの、団体会員が10団体から61団体に伸びているのは、個人が起業され団体の会員に移行した結果です。法人会員が伸びないのがセンターの弱点です。準会員はほぼ同数です。会員の増強は課題です。



### (3) ボランティア

センター事務局の運営や事業は多くのボランティアのサポートにより成り立っています。ボランティアの総活動時間数は2,430時間です。事務登録ボランティアは15人でした。イベントの場合はこの総数と別にカウントしています。みんなで歌おうコンサートも実行委員会はボランティアですし、始終会員にはあらゆるボランティアをしていただいているのが実情です。

### (4) インターンシップ

16名の学生や財団法人や行政の職員が実習に来ました。

## (5) 講演

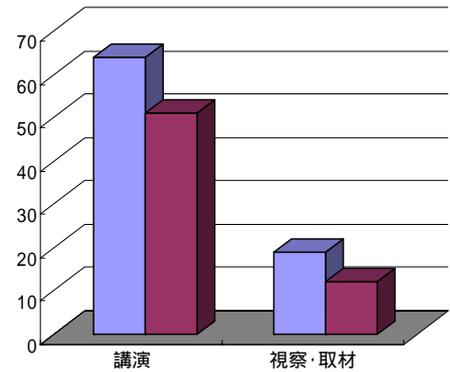
CB・NPO 起業に関するニーズが高く、一度行くと何度もご依頼いただくケースが増えています。これまでの抱負な支援実績に基づく報告、事例紹介に評価をいただいた結果だと思えます。また NPO 法人から職員力向上のための研修依頼が 4 割と増えています。

## (6) 取材

原稿を書き本になったのが 8 件あります。その中でも日本生命済生会や全国社会福祉協議会の「月刊福祉」の取材などは、福祉の分野に NPO が深く関わるようになったという感想を持ちました。

## (7) 視察

コミュニティ・ビジネスの起業支援について 2 件、中間支援組織の立ち上げについて 1 件、行政より依頼がありました。視察を受けるということは、同じような事業を考えているからであって、この件数が時代の要請の尺度になっています。



## (8) 阪神 NPO 連絡協議会

阪神間の NPO のネットワーク組織として 2000 年 4 月に発足した阪神 NPO 連絡協議会の事務局を 2003 年度から宝塚 NPOC が担当しています。月例会は 70 回を迎え、研修や情報交換、NPO の啓発活動などに取り組んでいます。今年度は春に、IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)と共催にて、主に NPO 支援センターを対象に 3 日にわたって宿泊研修を開催。東は愛知から南は沖縄まで阪神間を越えた広域のネットワークが結ばれました。秋には恒例となった「事務局とリーダーのための宿泊研修会」を開催し、阪神間の NPO スタッフのスキルアップにつながりました。



このネットワークによる直接的な現場の状況や蓄積された情報を活用することで阪神間の CB・NPO に対し効果的なサポートサービスを提供しています。

## (9) 近畿ろうきん NPO パートナシップ制度

退職された方や働く人達の豊かな経験を、地域でがんばる NPO でのボランティア活動に役立ててもらうため、近畿ろうきんの制度を活用し、7 団体 18 人のコーディネートができました。

ボランティアさんの声：自分のできる範囲で楽しみながら活動できたのが良かったです。

たくさんの人と関わる事ができ、助け合える友達がふえました。

受け入れ団体の声：ボランティアさんと仕事をする事は、たいへん自分自身の勉強にもなった。

交通費の補助をしてもらえることは、ボランティアをしようという人へのハードルを低くしてもらったと感謝しています。

## (10) ソリオ宝塚ふれあい夏祭り(8/23)

2005 年は JR 事故のため取りやめとなりましたが、2 回目となる今年は 1 回目の課題解決にむけての取り組みを重点的に行った結果、実行委員会メンバー・一般客ともに増加し、大変盛況でした。

異業種の実行委員を通じて新しいネットワークが団体間に生まれ、当日や盆踊り終了後も各方面から「賑わいのある街づくりの一環として顔の見える関係ができた」と喜ばれました。また新しく地元青年団の参加により、反応の少なかった若年層にとっても親しみのある催しになりました。

このようにみんなで協力して地域を活気づけていこうという気運が生まれた事により、この行事の継続的な開催に期待が寄せられました。



## 宝塚市「市民活動促進支援事業」

### (1) 宝塚市 NPO 法人

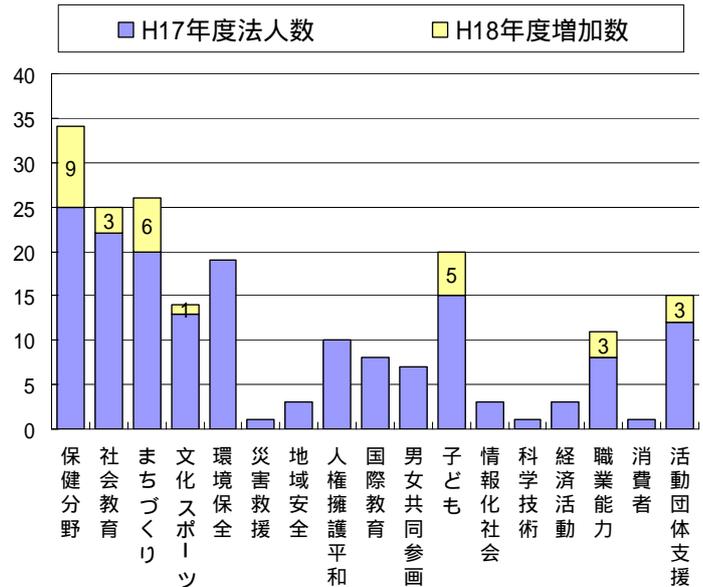
年度末で 57 法人となりました。昨年より 10 法人が認証を受けました。件数では健康福祉、まちづくり、子どもの順で増加、割合では職業能力分野が 4 割増と伸びています。

全国では、3 万法人以上となった記念すべき年となりました。

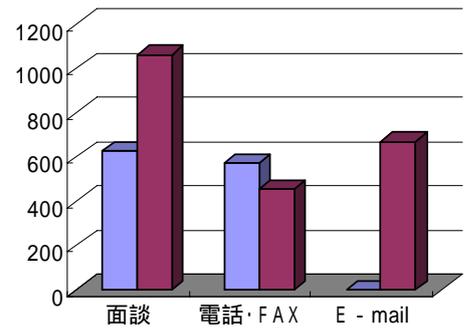
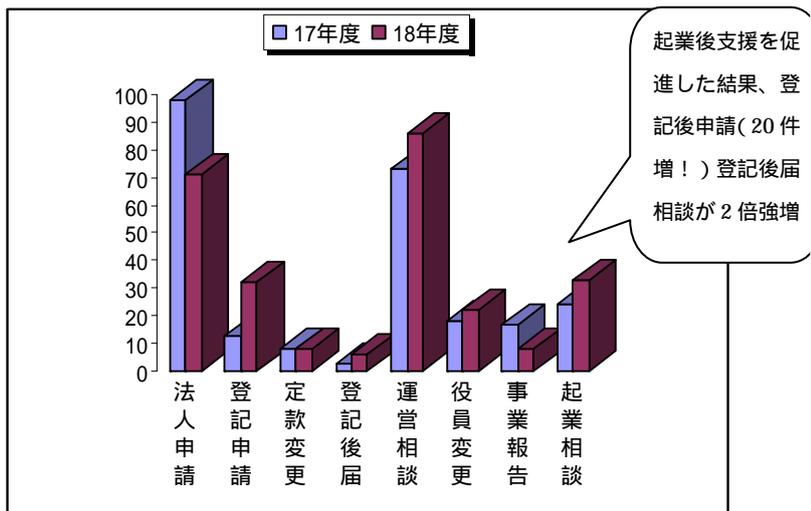
### (2) 相談

コミュニティ・ビジネスの起業や NPO 法人の認証支援の相談は昨年とほぼ同数で年間 266 件で 497 人の相談者が来ました。法人認証後の相談が増えています。

宝塚市内で 18 年度中に、NPO 法人を設立した団体 6、起業した団体 3、既存の団体が新規事業を立ち上げたもの 2、設立認証申請書が受理され 4~6 月に成立する NPO 法人 3 となっています。



宝塚市内からの相談全般(通信媒体別)



(注)メール相談については昨年度は未集計。  
本年度より実数集計しました。

### (3) ブログ講座を開催

主に宝塚市まちづくり協議会向けにブログ講座を 8 回開催、宝塚市内のまちづくりや NPO が、ブログで情報発信を始めています。

<http://www.hnpo.comsapo.net/zukamachi/>



「NPO 法人とここ」7 月 20 日法人認証  
逆瀬川にて元気に活動中

## NPO 法人長尾すぎの子クラブの取組み

～「ふっきーのお仕事帳」ブログ番外編～

宝塚市では、放課後児童対策として、小学1年生から3年生までの児童を対象に市内各小学校で学童保育（地域児童育成会）事業を行っています。しかし、植木産業のまち「長尾地域」では、植木畑が宅地化され、マンション等の建設が急増したことに伴い、毎年児童数が増加しており、学童保育に入会できない児童が生じてきました。

2006年度は、20人余の児童が入会できず、待機している児童は、年々増える傾向にあります。



宝塚市教育委員会では、定員80人の枠を広げることは、財政面、施設面及び安全対策面等から困難であると結論を出しています。一方、子どもを取り巻く環境が悪化している今日、待機児童にとって保育所を卒園した途端、放課後及び夏休み等期間中においては、保護者や大人の目が届かない状況に置かれてしまい、本人や保護者は日々不安を抱えています。



このような状況を踏まえ、協働のまちづくりの観点から、長尾地区まちづくり協議会の福祉部が中心となり、広く市民の参画を得ながら、学童保育待機児童の解消を図るため、特定非営利活動法人「長尾すぎの子クラブ」を設立し、放課後・夏休み等期間中の居場所づくり、スポーツ・文化・環境保全活動支援並びにこれらに必要な指導者の育成に関する事業を行うこととしました。

特定非営利活動法人長尾すぎの子クラブは、2007年2月23日認証書が交付され、同月中に法人設立登記を申請し、2007年4月から学童保育事業を開始することとなりました。

本件については、2006年10月5日、宝塚市小林室長が古田・萩原氏と共に宝塚NPOセンターへ来て、

- (1) 長尾地区まち協の福祉部会が中心となり、長尾小学校のプレハブで学童保育事業等を行うNPO法人を設立したい。
- (2) 待機児童が多いこの地区で、学童保育の必要性が高い。
- (3) 市教育委員会も乗り気で、2007年4月にスタートする。宝塚市としては、委託契約の関係上、2007年2月にNPO法人を設立してほしい。今から始めて間にあうか。
- (4) NPO法人設立の基本的な要件を説明されたい。合わせて、NPO法人設立認証申請書類作成を支援されたい。との要請がありました。

宝塚NPOセンターでは、生きサポ阪神北作成の「法人設立マニュアル・フロッピー」及び「NPO法人設立の基礎知識」を進呈し、2006年11月中の申請書受理を目指して、申請書類作成を支援しました。

2007年2月23日認証書が交付され、2月28日NPO法人設立登記申請書類（設立登記申請書、登記用紙（OCR）、印鑑届出書、定款、設立総会議事録、財産目録、委任状の作成を支援し、3月1日設立登記を申請し、同日NPO法人長尾すぎの子クラブが成立した。地域の人で働いてくれる人を募集し、20人がパート、2人が指導員になり、2007年4月2日から学童保育事業を開始することとなりました。



#### (4) 啓発・交流事業

NPO 基礎講座、NPO 法人設立講座、実務講座、宝塚 NPO サロンを定期的に開催しました。あわせて、“宝塚市民に、NPO 法人だけではなく、規模が小さくても素敵な活動をしている市民団体を知ってほしい”との要望から、「情報ステーション」を発刊(右図)、市内の公共施設など 22 か所に、1,000 部(季刊)設置しています。

講座等の情報はブログから <http://www.hnpo.comsapo.net/zukanpo/>



##### NPO 基礎講座 講師 小野靖子

全 9 回(月 1 回)

参加者：のべ 51 人(平均 5.6 人)

7~9 月の 3 ヶ月に集中。年末、年度末は少。

感想より

- ・概略把握に有効
- ・ステップアップセミナー、サロンへ誘導
- ・法人設立のたいへんさ、本人格の必要性を実感



##### NPO 法人設立講座 講師 吹曾幸雄

全 9 回(月 1 回)

参加者；のべ 31 人(平均 3.4 人)

感想より

- ・抱負で具体的な支援事例が有効。要点を得ている
- ・フォームがありがたい。
- ・膨大な事務量を実感 法人設立の要不要も再考

##### NPO 実務講座

全 4 回 参加者：33 人(平均 8 人)

「企画書作成 WS」のみ 19 人と突出して多い。

総評：

連続受講者あり。総会開催、報告書提出など、時期的にニーズが高いテーマで開催できている。寄付や会員継続のためにも日常業務の中で無理・無駄のない形で実績をまとめ、情報公開ができるシステム提案が必要。



##### 宝塚 NPO サロン

全 9 回 木曜日午後(一部火曜日)

参加者：112 人(平均 12.4 人) 1~3 月に集中

テーマ：

昨年度のテーマ「行政との協働」に必須なのは「情報」である、との結論から、今年度は「NPO がいかに情報のプロモーション力を高めるか」に議論を集中させた。



## 兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいごとと支援事業」

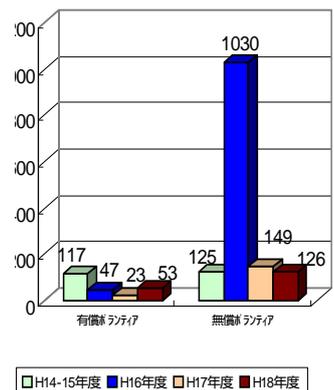
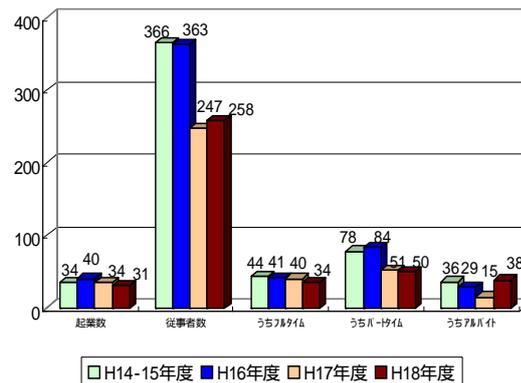
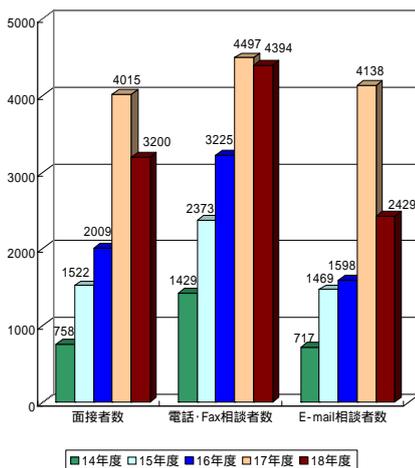
生きがいごととサポートセンター(SC)阪神北事業は5年目となりました。宝塚 NPOC は、森・金森が2002年度開設から、吹曾・田淵が2003年度から継続して、生きがいごと SC 阪神北事業を担当しています。県下に6つの生きがいごと SC が展開されていますが、経験、実績、蓄積されてきたノウハウ、各種ネットワークのもと、最も優れた成果をあげています。2006年度の主な目標は右図の通りでした。NPO・CBの起業家や運営者と会って、話をし、具体的な解決方法を見つけていく、中間支援 NPO の大切な日常です。その結果としての起業団体数や雇用創出数はもちろん重要ですが、プロセスとしての面接者数や相談団体数も中間支援 NPO の存在価値を証明する大切なポイントです。

起業団体数	30 団体
雇用創出数	200 人
面接者数	3,000 人
新規起業相談者数	300 人
起業・経営相談団体数	100 団体
既存組織・事業で新しいしごとと創出	10 人

### (1) 2006 年度の成果概要

2006年度は、約2,350万の予算が1700万円に削減され、生きがいごと SC 阪神北事業専用の事務所を閉鎖し、宝塚 NPOC 本体と合流してのスタートでした。全ての評価項目で目標値を上回る成果をあげることができ、多少の不安はありましたが、新しい体制で十分な結果といえると思います。2005年度と比較すると面接者数や E-mail 相談数などは減少していますが、5年間の傾向としては増加傾向にあり、また依然として NPO・CB に対する起業や就業のニーズは増加傾向にあり、生きがいごと SC 阪神北のようなサポートセンターが必要とされているといえます。5年間の累計では、面接者数 11,263 人、電話・Fax 相談件数 15,546、E-mail 相談者件数 10,171 となりました(下図左)。新規起業は 31 事業(下図中、参照; 2002年度7件、2003年度27件、2004年度40件、2005年度34件)ここ数年は、年30~40件の新規起業を実現できています。新規起業に伴い、起業メンバー・従業員 258 名(5年累計1,234名)、有償ボランティア 53 名(5年で240名)、無償ボランティア 126 名(5年で1,430名)の“生きがいごと”を創りだすことができました(下図中・右)。また、無料職業紹介事業として、就職相談者数 180 名、新規求職相談者数 132 名(目標80名)、就職成立者数 43 名、ボランティア成立者数 76 名(うち有償2名)。

	目標	実績
面接者数	3,000	3,200
新規起業相談	300	433
起業数(仕様書)	20	31
起業数(自主目標)	30	31
従事者数(仕様書)	190	285
従事者数(自主目標)	200	285
起業・経営相談案件(団体・個人)	100	198
新規求職者数	80	132
啓発イベント・講座等参加	300	445



### (2) 起業団体の横顔

生きがいごと SC 阪神北が開設された当初は、福祉系の NPO 法人設立の相談が多かったのですが、最近の様子が変わってきています。主な傾向は、

#### バラエティに富んだ起業内容

2006年度の31事業は、音楽関係2、カウンセリング2、スポーツ2、保育2、自然環境2、ICT関連2、海

外 1、アート 1、中間支援 1、福祉関係 6 となり、介護保険・支援費・小規模作業所等の福祉関係が減ってきています。福祉関係の NPO 法人化は、2003 年度が 13、2004 年度が 16、2005 年度が 5 なので、様々な分野に NPO・CB が進出しているといえるでしょう。

20代・30代前半の中心メンバーの起業が増えてきた

2006 年度で 5 事業が該当します。素直に嬉しい気持ちになりますね。注目 & 応援してください。

小規模作業所かなう <http://bari-furi.biz/>

NPO 法人場とつながりの研究センター 関連 <http://www.kippy-de.net/>

Redog Café <http://voluntary.jp/redog/>

パソコン活用隊 <http://www.hnpo.comsapo.net/pcdiary/>

デザイン事務所 83rd <http://www.hnpo.comsapo.net/83rd/>

運営相談が増加傾向

主に NPO 法人からの相談では、初期段階の法人設立から、法人運営や新規事業化の相談が増加してきています。事業が地域に根付き、新たな花を開こうとしています。2006 年度計 744 件で対前年度比 137 件 (22.6%) の増加、内訳では、法人設立申請 223 件(前年度比 34 件減)、運営相談 251 件(同 76 件増)、CB 起業・助成金相談 83 件(同 50 件増)、登記申請 67 件(同 26 件増)、役員変更 51 件(同 19 件増)、定款変更 36 件(同 20 件増)、事業報告 23 件(同 17 件減)、登記後届 10 件(同 3 件減)となります。

**(3) 生きがいごと SC 阪神北のサポートの特徴**

どこまでもきめ細かく、NPO 法人申請・NPO 法人運営の書類作成支援

相談の繰り返しを避けるとともに、県庁における審査を原則 1 回とすべく、より親切なマニュアルを用意。

NPO 法人設立講座を実施

NPO 法人の設立・運営全般を担当する吹曾が、3 時間超の“じっくり NPO 法人実務”講座を開催。

充実した個別対応

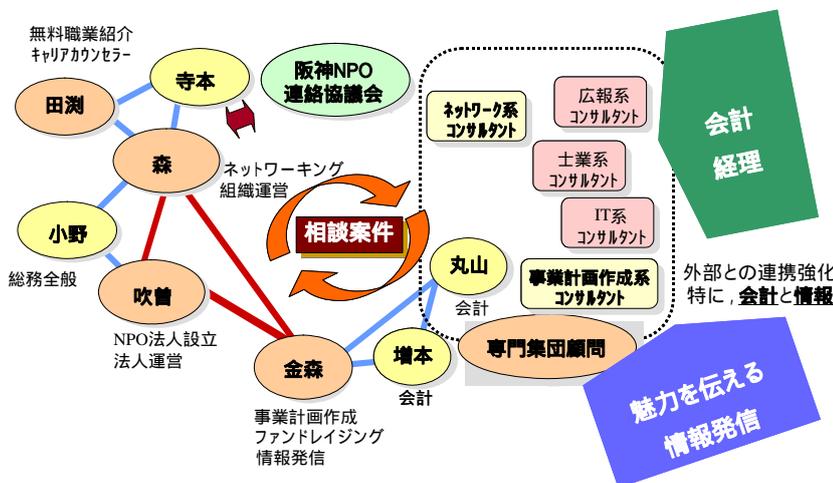
「スタッフも相談者も楽しく、元気に、生き生きと、相談者と視線を同じく、相談者のペースに合った個別相談・個別サポートを」を合言葉に、会計や ICT 関連の専門家とも連携しながら、相談案件・内容に応じてチームを組んで、相談者それぞれに個別に対応するという方法で支援サービスを行なっています(下図左)。

専門家派遣：34 団体に対し 52 回の個別派遣・個別相談を実施

NPO・CB の情報開示支援：20 団体に対し、23 回の個別派遣・個別相談を実施

その他に、講座・講演会、起業家 Café などを開催しています(右記)。

詳細はブログにて <http://voluntary.jp/hnpo-net/>



**【講座・啓発イベント】**

CB セミナール：19 回、113 名

…基礎・助成金・法人設立・ブログほか  
実務講習会：10 回、99 名

…NPO 会計・NPO 法人実務

起業体験者セミナー：5 回、99 名

技能・資格取得セミナー：4 シリーズ、58 名

啓発講演会：2 回、79 名

起業家 Café：2 回、72 名



## インキュベーション事業

インキュベーション事業部は、阪神北 NPO ハウス、阪神・宝塚・川西情報ねっと、Web 版バスマップ・バスマップブログに取り組んでいます。2006 年度は、NPO やまちづくり協議会などがブログで情報発信する地域情報ポータル「阪神・宝塚・川西情報ねっと (<http://www.hnpo.comsapo.net/>)」の開設、バスマップ事業の拡充（近畿運輸局 阪神都市圏バス交通利用促進調査受託）と、充実した 1 年でした。

### (1) 阪神北 NPO ハウス

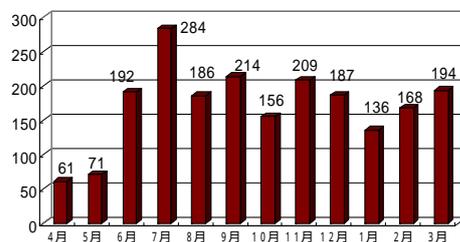
全労済兵庫県本部、近畿労働金庫（地域共生推進センター）の地域社会貢献事業として開設された阪神北 NPO ハウスは、実質 3 年が経過しました。地域住民のみなさんとの交流の場であり、地域に密着した事業の起業を応援するインキュベーション施設（2007 年 3 月末で 8 団体が入居）でもあります。1F の交流スペースでは、ミニデイサービスや高齢者サロンが開かれていて、地域の自治会やまちづくり協議会の会議室としても利用されています。2007 年度の交流スペース利用者数は延べ 2,058 名、地域に根ざした NPO ハウスを目指しています。

2005・2006 年度兵庫県阪神北県民局インキュベーションホール運営補助事業対象。

詳細は、阪神北 NPO ハウスのブログに掲載中 <http://www.hnpo.comsapo.net/npoh/>



インキュベーション入居団体（2007年3月末）  
事務所利用 残り、1 団体（2Fの1ブース）  
(1) 高齢者問題を考え行動する会  
(2) チャレンジャー  
(3) NPO法人 森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部  
(4) NPO法人 さわか社会教育プラザ  
(5) NPO法人 宝塚モナミ会  
(6) メンタルパートナーズ（1部屋利用、NPO法人認証申請中）  
郵便箱利用  
(1) NPO法人 ソーシャル・デザイン・ファンド  
(2) 有限会社 ケアステーションマスカット  
Web利用：約10団体



交流スペース月別利用者数

### (2) 阪神・宝塚・川西情報ねっと

株式会社 NTT データビジネスイノベーション本部 EC ソリューションビジネスユニット、NTT データクリエイション株式会社 e コミュニティ事業本部、株式会社 NTT データ経営研究所社会・環境戦略コンサルティング本部とのコラボで始まった「NPO の楽しい現場の雰囲気をブログで発信しよう！」プロジェクトは、約 3 年の月日を経て、「阪神・宝塚・川西情報ねっと (<http://www.hnpo.comsapo.net/>)」という 1 つの形となりました。

当該地域の NPO や宝塚市のまちづくり協議会が、日々の活動や想うところをブログで発信しています。ポータル（左図）には、イベント一覧、ちょっとした相談事に NPO が答える相談箱システム、新着ブログが掲載されています。

宝塚 NPOC のブログ (<http://www.hnpo.comsapo.net/zukanpo/>) もあります。おススメは、

宝塚今昔物語 <http://www.hnpo.comsapo.net/t-story/>

シニア倶楽部 <http://www.hnpo.comsapo.net/seniorclub/>

…宝塚 NPOC のボランティアさんの日々なども分かってしまう

宝塚まちづくり情報 <http://www.hnpo.comsapo.net/zukamachi/>

使い方は簡単で、利用者の皆さんからは、大変好評を得ています（約 2,000 ページビュー/日（2007 年 3 月末現在））。PDF ファイルもアップできる便利な道具です。今後は、神戸、北摂エリアへの拡大していく予定です。



### (3) Web 版バスマップ・バスマップブログ

行政 NPO 協働事業助成（ひょうごボランティアプラザ）の 2 年目となるバスマッププロジェクト。阪神都市圏公共交通利用促進会議が発行する紙版バスマップ（写真左下）の Web 版（下中図）とブログ版（右図）を、兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所と協働で作成・運営しました。

平成 18 年度ひょうごボランティアプラザ行政 NPO 協働事業助成対象

平成 18 年度近畿運輸局阪神都市圏バス交通利用促進調査事業

阪神地域の約 1,300 のバス停をブログ化、紙版のバスマップにあわせて Web 版バスマップを作成、紙と Web の双方から使い勝手の良いバスマップを目指しています。

バスマップブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/busmap/>

Web 版バスマップ <http://hnpo.net/n/busmap/>

Web 番には紙版と同じマップが掲載され、バス停をクリックすると各バス停のブログへリンクされています。各バス停のブログには、バス停の基礎情報や周辺の写真に加え、近隣公共施設、観光施設、NPO 情報、美味しいお店情報などが、リンクやトラックバックで集まってきます。阪神・宝塚・川西情報ねっこの地域基盤情報としても期待しています。



### (4) 海外調査『ユース・フィランソロピー in Indiana』

「若者は社会を変えることができる」。子どもたちを強く信頼することから始まるユース・フィランソロピーはアメリカのインディアナ州が先進地域。ここではプロジェクトの資金調達から運営、報告、評価といった一連の流れが若者を中心に行われています。子ども達は社会の資源の流れを経験から学んでおり、彼らの多くが将来社会活動に関わる人が多いそうです。

現地ではプロジェクトの運営をしている NPO や財団を巡り、その要素やノウハウを調査しました。参加している若者達は自信を持ち、自分の言葉で語る姿が印象的でした。NPO の大人のスタッフの雰囲気も快活で、これからの取り組みへの確信や発見がありました。

これらの調査結果をもとに若者関連の事業を立ち上げる予定です。NPO の基盤作りには地域の若者がひとつの鍵を握っています。若者参加の場を広げ、日本にも元気な NPO のある価値観豊かな社会を築いていきます。



## 子育て支援事業

### (1) ミニたからづか

宝塚市のからの委託事業「ミニたからづか ～子どもたちが遊び感覚でまちをつくる～」は12名からなる実行委員会と中学生から大学院生13名で構成されたミニづかスタッフの実行員会形式で、企画から運営まで行いました。当初は当事者になるミニづかスタッフを募集するのに随分実行委員が苦勞をしましたが、11月には初めての実行委員会を持つまでにこぎ着けました。初対面同志でぎこちないスタートを切りましたが、時間を追うごとにスタッフの意識も変わり、最年少の男子中学生に至っては成長めまぐるしく、積極的に意見を述べたり、店舗のゲームコーナーを作ったりと短期間にみるみる変わって行きました。

就労体験ということで19のブースをミニづかスタッフが考案しました。そのブースは以下の通りです。

行政他：市役所・職業案内所・警察署・清掃局・銀行・放送局・出版社・託児所・ミニづか劇団

店舗：飲食（チャーハン・ジュース・タコセン・綿菓子・きりりサンド・ジュース）、ゲーム（おみくじ・ダーツ）、工房（リリアン・紙すき・ポプリ）、美容（ネイルアート・フェイスペインティング）、足湯

ミニづかスタッフはブースの中にも“宝塚らしさ”を取り入れるために、足湯には源泉を使用、きりりサンドでは炭酸煎餅を、宝塚歌劇を意識したミニづか劇団も登場しました。

開催の3日間は雨天模様でしたが、参加者は目標の1,000人を大幅に上回る延べ1,268名となりました。またご協力いただいたボランティアは延べ483名。大きな事故もなく、子ども達が安心してミニたからづかで働き、働く喜びを大人と共に分かち合えた3日間でした。



委託者	宝塚市（子育て支援課）
事業名	宝塚市次世代育成支援行動計画推進フォーラム事業（ミニたからづか）
委託期間	平成18年7月1日～平成19年3月31日
実施要綱	遊びから就労を学ぶ 子どもの視点でまちづくり
実施内容	子どもたちがまちの主役として、実際に小規模なまち（ミニたからづか）を実現させ、そこで就労体験を遊び感覚で行う。
実施日・場所	3月24日（土）～26日（月）10:00～16:00（最終日15:00）・花のみち
主催	ミニたからづか実行委員会、宝塚市、宝塚市教育委員会 事務局：宝塚NPOセンター

### (2) プレパーク（冒険遊び場）

プレパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに遊びを指導するのではなく、あくまでも子どものやりたい遊びを自由にする空間で2004年10月より宝塚市子どもの居場所づくり事業の一環として位置づけされています。

場所：末広中央公園

対象：主に幼児から小学生

回数：32回土曜日開催・参加：延べ850名

内容：お絵かき、ボール遊び、大なわとび、水遊び、台車遊び、鬼ごっこ、など



2006年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

2006年4月1日～2007年3月31日

特定非営利活動法人宝塚NPOセンター

(単位：円)

科目	2006年度予算額	2006年度 補正後予算額	2006年度決算額	備考	
(資金収支の部)					
・経常収入の部					
寄付金収入	1,400,000	1,330,000	1,326,702	内イキュバ-ション事業90万 詳細を追記	
助成金・補助金収入					
CDC事業補助金	17,000,000	17,000,000	17,000,000		
その他助成金・補助金収入	2,940,000	2,490,000	2,490,000		
会費収入	2,000,000	1,910,000	1,908,000		
事業収入					
自主事業収入	3,000,000	6,650,000	6,639,968		
子育て支援事業収入	200,000	150,000	149,580		
イキュバ-ション事業収入	1,840,000	2,200,000	2,201,500		
CDC事業収入	475,000	190,000	187,000		
委託収入					
宝塚市民活動促進事業収入	8,190,000	8,190,000	8,190,000		
その他委託収入		3,900,000	3,900,000		詳細を追記
その他収入	0	13,000	12,600		近畿運輸局ハ-マップ調査315万、宝塚市子育て支援60万ほか
雑収入	150,000	320,000	315,022		
受取利息		3,000	2,407		
経常収入合計	37,195,000	44,346,000	44,322,779		
・経常支出の部					
事業費					
自主事業費	4,817,000	6,322,000	6,363,253		
子育て支援事業費	145,000	687,000	755,202		
イキュバ-ション事業費	3,846,000	7,173,000	7,142,772		
宝塚市民活動促進事業費	5,068,000	5,290,000	5,252,441		
CDC事業費	17,175,000	17,131,000	17,200,356		
事業費合計	31,051,000	36,603,000	36,714,024	別管理費、CDC枠外事業費も算入	
管理費					
給料手当	2,736,000	2,328,000	2,328,000		
法定福利費	329,000	960,000	946,574		
福利厚生費	30,000	15,000	13,640		
研修費	60,000	55,000	52,674		
発送費	40,000	35,000	32,240		
渉外費	25,000	35,000	33,595		
会議費	30,000	70,000	69,587		
旅費交通費	110,000	17,000	15,920		
通信費	300,000	20,000	18,128		
印刷製本費	150,000	3,000	1,100		
消耗品費	130,000	80,000	76,443		
修繕費	50,000	130,000	127,133		
水道光熱費	48,000	25,000	22,194		
新聞図書費	20,000	10,000	9,118		
諸会費	10,000	96,000	92,300		
支払手数料	20,000	22,000	19,093		
別管理費	496,000	300,000	293,664		
貸室使用料	20,000	40,000	36,800		
リース料	550,000	75,000	70,245		
保険料	10,000	0	0		
租税公課	350,000	552,000	523,780		
雑費	5,000	4,000	3,508		
管理費合計	5,519,000	4,872,000	4,785,736		
経常支出合計	36,570,000	41,475,000	41,499,760		
経常収支差額	625,000	2,871,000	2,823,019		
・その他資金支出の部					
未払法人住民税等	80,000	80,000	82,000		
当期収支差額	545,000	2,791,000	2,741,019		
前期繰越収支差額	10,408,139	10,408,139	10,408,139		
次期繰越収支差額	10,953,139	13,199,139	13,149,158		
(正味財産増減の部)					
・正味財産増加の部					
当期収支差額			2,741,019		
・正味財産減少の部					
敷金償却額			240,000		
当期正味財産増加額			2,501,019		
前期繰越正味財産			11,198,139		
当期正味財産合計			13,699,158		

**2006年度特定非営利活動に係る事業会計  
貸借対照表**

2007年3月31日現在

特定非営利活動法人宝塚NPOセンター

(単位：円)

借方		決算額		貸方		決算額	
資産 の 部	.流動資産			負債・ 正味 財産 の 部	.流動負債		
	現金・預金				預り金(注6)	552,024	
	現金	905,115	1,245,525		会費前受金	292,000	
	郵便貯金(注1)	1,000			未払金(注7)	578,079	
	普通預金(注2)	339,410			未払法人税等	82,000	
	(現金・貯金合計)				未払消費税	8,300	
	その他の資産				負債合計		1,512,403
	未収入金(注3)	13,298,484	13,339,596		正味財産の部		
	前払費用(注4)	41,112			前期繰越正味財産額		11,198,139
	(小計)				当期正味財産増加額		2,501,019
(流動資産合計)		14,585,121	正味財産合計		13,699,158		
.固定資産							
電話加入権	76,440	626,440					
敷金(注5)	550,000						
(固定資産合計)							
資産合計		15,211,561		負債及び正味財産合計		15,211,561	

- 注1 貯金 日本郵政公社 宝塚駅前郵便局 (通常貯金 14380 42224241) 1,000円
- 注2 預金 三菱東京UFJ銀行 宝塚中山支店阪急宝塚出張所 (普通預金3629422) 295,308円  
 預金 三菱東京UFJ銀行 宝塚中山支店阪急宝塚出張所 (普通預金1034138) 37,882円  
 預金 近畿労働金庫 西宮支店 (普通預金4301559) 6,220円
- 注3 未収入金 18年度宝塚市民活動促進事業委託金 4,095,000円  
 近畿運輸局委託金 3,150,000円  
 兵庫県生きがいしごとサポート事業補助金 3,688,484円  
 兵庫県インクルーシブ運営補助金 840,000円  
 兵庫県社協ひょうごボランティア-基金中間支援活動助成金 500,000円  
 インクルーシブ事業収入 525,000円  
 18年度次世代育成事業委託金 300,000円 他3件 200,000円
- 注4 前払費用 ソリオ管理費 41,112円
- 注5 敷金(未返還分) ハイツ村上 村上英子 310,000円  
 (株)関西都市住居サービス 240,000円
- 注6 預り金 給与源泉所得税 289,640円 社会保険料 262,384円
- 注7 未払金 法定福利費事業主負担分 245,018円 未払報酬 100,000円  
 NTTデータサービス3月利用分 136,500円 消耗品費 29,579円  
 水道光熱費 12,553円 通信費 40,337円 その他 14,092円

2006 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2007年3月31日現在

特定非営利活動法人宝塚NPOセンター

(単位：円)

科目・摘要	金額	
資産の部		
1 流動資産		
現金（手元有高）	905,115	
郵便貯金（宝塚駅前郵便局）	1,000	
普通預金（三菱東京UFJ銀行宝塚中山支店阪急宝塚出張所）	295,308	
普通預金（三菱東京UFJ銀行宝塚中山支店阪急宝塚出張所）	37,882	
普通預金（近畿労働金庫西宮支店）	6,220	
未収入金	13,298,484	
前払費用	41,112	
流動資産合計		14,585,121
2 固定資産		
電話加入権	76,440	
敷金	550,000	
固定資産合計		626,440
資産合計		15,211,561
負債の部		
1 流動負債		
預り金 職員の給与等にかかる源泉所得税	289,640	
預り金 職員の給与にかかる労働・社会保険料	262,384	
会費前受金 2007年度会費	292,000	
未払金 法定福利費事業主負担分、他	578,079	
未払法人住民税	82,000	
未払消費税等	8,300	
流動負債合計		1,512,403
負債合計		1,512,403
正味財産		13,699,158

## 2007年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

2007年4月1日～2008年3月31日  
特定非営利活動法人宝塚NPOセンター

(単位：円)

科 目	2007年度予算額	備考
(資金収支の部)		
・経常収入の部		
寄付金収入	1,300,000	
助成金・補助金収入		
CDC事業補助金	17,900,000	
その他助成金・補助金収入	2,620,000	
会費収入	2,000,000	
事業収入		
自主事業収入	3,000,000	
若者・子ども応援事業収入	0	
ｲﾝｷｬﾌﾞ-ｼﾞｮﾝ事業収入	2,370,000	
CDC事業収入	900,000	
委託収入		
宝塚市民活動促進事業収入	8,163,750	
その他委託収入		
その他収入	0	
雑収入	150,000	
受取利息	0	
経常収入合計	38,403,750	
・経常支出の部		
事業費		
自主事業費	4,003,000	
若者・子ども応援事業費	300,000	
ｲﾝｷｬﾌﾞ-ｼﾞｮﾝ事業費	4,013,000	
宝塚市民活動促進事業費	5,145,000	
CDC事業費	18,800,000	ｼﾞｮｲﾝﾄ管理費も算入
事業費合計	32,261,000	
管理費		
給料手当	1,920,000	
法定福利費	197,000	
福利厚生費	15,000	
研修費	20,000	
発送費	20,000	
渉外費	30,000	
会議費	50,000	
旅費交通費	38,000	
通信費	18,000	
印刷製本費	5,000	
消耗品費	80,000	
修繕費	100,000	
水道光熱費	0	
新聞図書費	0	
諸会費	75,000	
支払手数料	17,000	
ｼﾞｮｲﾝﾄ管理費	480,000	
貸室使用料	20,000	
リース料	120,000	
保険料	10,000	
租税公課	400,000	
雑費	5,000	
管理費合計	3,620,000	
経常支出合計	35,881,000	
経常収支差額	2,522,750	
前期繰越収支差額	13,149,158	
次期繰越収支差額	15,671,908	